

教育広報

いわみざわ市の教育

●●特集●●

子どもたちの豊かな心をはぐくむ



今年も新春恒例の子ども書初め大会が開催されました。
子どもたちは、みんな真剣な表情で筆をはこばせていました。
(1月11日 スポーツセンターにて)

岩見沢市教育委員会ホームページ

<http://www2.city.iwamizawa.hokkaido.jp/kyouiku/main/index.html>



子どもたちの 豊かな心をはぐくむ

近年、子どもたちを取り巻く環境が大きく変化している中、子どもたちの学ぶ意欲や規範意識、コミュニケーション力の低下、社会性の未発達、人間関係の希薄化など、様々な課題が指摘されています。

将来を担う子どもたちが、夢と希望にあふれ心豊かにたくましく成長できるように、①自尊心(自分を大切に思う心)、②基本的な生活習慣、③人間関係を築く力、④生命を尊重する心、⑤規範意識や勤労観(社会との関わり)などを育

成することが大切です。

そのため、家庭、地域社会、学校が十分連携を図りながら、子どもたちに「豊かな心」豊かな人間性や感性をはぐくむ教育の充実に努めていかなければなりません。

まずは家庭から

「豊かな心」豊かな人間性や感性をはぐくむためには、幼児期から発達段階に応じて、家庭の中で基本的な規範意識や公正な判断力、倫理観などを身につけさせることが必要です。

挨拶や食事、時間など、家庭での約束事を子どもにきちんと守らせ、基本的な生活習慣を身につけること、自分の考えを自分の言葉でしっかりと相手に伝えることや、人の話を最後まで聞き取るコミュニケーション力を育てること、子どもの夢や希望、保護者の期待を子どもの成長に合わせてしっかりと話し合い、将来の進路をイメージすること、適度な失敗・成功・我慢体験をさせることなど、家庭の中で意識した取組みが大切です。

地域行事等への参加

町内会や地域子ども会では、盆踊りやスポーツ大会など、子どもたちが参加できる様々な行事を開催しています。こうした行事に子どもを積極的に参加させ、人の輪の中に入ることによって、豊かな人間関係や社会性を養うことができます。

また、図書館や郷土科学館などでは、本の読み聞かせや様々な体験活動など、子どもを対象とした各種行事を展開しています。こうした行事に参加することも、豊かな心をはぐくむ機会の一つになります。



本の読み聞かせ

教育活動の中で

学校では、豊かでうるおいのある教育環境を整備し、自然や他者とのふれあいなどの豊かな体験活動、豊かな心をはぐくむ読書活動、学校の教育活動全体を通じた道徳教育、子ども心に響く道徳の授業など、子どもたちに豊かな心をはぐくむ様々な取組みの充実を図っています。

また、市教育委員会では「豊かな心育成事業」を通じて、各学校が創意工夫して、地域や学校の特色を生かし、児童生徒の豊かな心をはぐくむ教育活動を支援しています。ここでは、各学校の具体的な取組みの一部を紹介します。

▼メープル小学校
命の大切さを学ばせる体験活動

「自分を大切に」「他人を思いやる」「生き物の命に触れる」ということを視点に、カヌー体験、冒険活動、ピオトープ学習など様々な体験活動を通して、他の生命を尊重する心を育てています。

▼北村小学校
地域環境を活用した稲作体験活動

田植え、草取り、稲刈り、脱穀、収穫祭（餅つき）までの一連の稲作体験を通して、地域の基幹産業に対する意識や自ら課題を見つけて解決する能力を高め、地域の人のふれあいの中で望ましい人間関係のあり方を学習しています。

▼豊中学校
学校の環境整備（花壇づくりの活動）

学級ごとに花壇づくりに取り組み、生徒会美化委員会による花壇コンクールの実施を通して、環境美化に関心を持ち学校環境をよりよくしようとする心を育てています。また、命の大切さや生き物を育てる喜びを体感することができます。

▼上幌向中学校
保育園や地域の方々との交流を通して学ぶ活動

上幌向保育園で保育体験を行い、幼児との交流を通じ、育児に興味や関心を持つとともに、思いやりや心をはぐくみます。また、陶芸

や書道を地域の専門家に学び、自己表現力を豊かにし、日本の伝統文化への理解と愛着の心を深めています。



保育体験

子どもを守る

子どもたちに豊かな心をはぐくむ取組みが展開されている一方で、いじめや不登校などで悩んでいる子どもがいるのも事実です。

保護者や教師などまわりの大人は、子どもの立場に立ち、悩みを親身になって受け止める対応が求められます。

また、悩みを気軽に相談できる窓口を設けるなど、子どもを守る体制づくりが重要です。

問合せ 指導室 ☎23局 4111

いじめや不登校などに関する相談窓口

◇岩見沢市の関係機関

◇その他の機関

相談窓口	電話番号	相談時間	相談窓口	電話番号	相談時間
岩見沢市教育委員会指導室	23-4111 (内線 387)	月～金 9:00～17:30	子ども専用フリーダイヤル (北海道立教育研究所)	0120-3882-86 0120-3882-56	毎日 10:00～21:00
岩見沢市立教育研究所	22-4412	月～金 9:00～17:00	児童家庭支援センター (光が丘子ども家庭支援センター)	22-4486	毎日 24 時間
学校適応指導教室 「レインボーくらぶ」	31-4030	月～金 9:30～16:00	少年相談 110 番 (北海道警察本部)	0120-677-110	月～金 8:45～17:30
岩見沢市青少年センター	23-4111 (内線 412)	月～金 9:00～17:00	教育相談電話 (北海道立特殊教育センター)	011-612-5030	月～金 9:00～17:00
岩見沢市家庭児童相談室	22-3337	月～金 9:00～17:00	教育相談電話 (空知教育局)	22-3912	月～金 8:45～17:30



みんなの



学校づくり



市内 26 の小・中学校・市立高校を順次紹介します。

花壇づくりと学校田 そして開校百周年

南小学校



毎年、PTAや地域の方々と学校横歩道の花壇に花の苗を植え、草取りの活動を行います。月ごとの定期作業日には、PTAと各学年が順番に手入れをしています。また、5年生は、

毎年、地域の方の指導をいただき学校田に稲を植え、除草、稲刈り、脱穀作業をしています。今年も豊作でした。さらに、昨年は南小開校100周年でたくさんのお窓生、PTA、地域の方々のご支援をいただき記念事業を行うことができました。南小二世紀に向けて気持ちを新たにしています。



ボランティアガード

「I・愛・eye 作戦」

志文小学校



今年度、志文小・メイプル小・清園中のPTAが中心になり、児童・生徒の登下校の安全を守ろうとボランティアガード「I・愛・eye 作戦」を設立しました。美流渡小・美流渡中PTAも参加して、早速PTAや地域の

方々とともに、「ふくろう」のように眼を大きくして子どもたちの様子や危ないことはないか、街頭での巡視活動を開始しました。

今、毎月1日と15日を集中行動日としています。地域の方々にも広く参加を呼びかけていますので、今後の活動を積極的に進めて行きたいと思えます。



5年生稲作体験学習

田植ええ・稲刈り体験

栗沢小学校



毎年、5年生が5月と9月に稲作体験(田植え・稲刈り)学習に取り組んでいます。栗沢クラインガルテンの教材用の田んぼをお借りして実施し、由良地区で農業に従事されている方に田植えや稲刈りの指導をしていただいています。空知中央地区農業改良普及センター、栗沢支所、農協の職員の方にも指導やお世話をしていたりながら体験学習を実施しています。農業改良普及センターの職員の方からは、とても詳しい「お米の話」をしていただきました。夏休み前に、その後の稲の経過観察を行い、9月14日(木)には、見事に育った稲を刈り取る体験ができました。この子も上手に稲を刈っています。刈り取った稲をしばって束ねる作業がなかなか難しかったようです。



地域防災訓練

「地域が安全で安心して暮らすことのできる優しい地域」

光陵中学校



今年度で7回目となる地域防災訓練、防災の日である9月1日(金)に総勢750名を超える規模で実施しました。

例年、消防署や警察署をはじめ、各町会、本校PTA、市防災対策室、市教委生涯学習振興課など、多くの関係者のご協力のもとで行っています。学校の学校開放事業を運営している学校開放運営委員会(光陵中学校地域コミュニティ)が中心となって推進しています。



12月7日(木)には、同じく光陵中学校地域コミュニティが主催する「地域ミニ文化祭」も実施されました。

地域とともに

学校行事

美流渡中学校



毎年5月には保育所・小学校・中学校合同大運動会、9月には学校祭をPTAや地域の皆さんの協力や参加を得て行っています。

合同大運動会では、恒例となっている新栗沢音頭を総勢100名以上の大きな輪になつて老若男女を問わず踊り、世代交流を深めるよい場となっています。また、学校祭では、高齢者の方々を招いた



り、地域で活動している方々の作品を展示したり、PTAのステージがあったりと多くの方々に参加していただいています。地域の皆様に喜んでもらえる行事にすることが子どもたちの大きな張り合いになっていきます。

今回は、幌向小学校、東小学校、美流渡小学校、緑中学校、北村中学校を紹介しします。

市P連の 活動紹介

開会式・講演会、そして午後の体験講座という日程の中で、大変有意義な研修を深めることができました。

講演会では旅行雑誌「じゃらん」編集長のヒロ中田氏から「北海道や空知の地域事情」や「おやじの教育論」などを含め、多岐にわたる内容で講演をいただきました。私達自身

が気付かないことにも目を向けさせられ、大変示唆に富むものでした。午後からは、各単Pがアイディアと工夫を凝らし市内各地の施設を会場にして体験講座を設定しました。

「こぶし焼き」、「そば打ち体験」、「岩見沢競馬場見学」など10の講座があり、大変良かったこの声が多数寄せられました。

来年度は美唄市を会場にして南空知P連研究大会が開催され、岩見沢市P連主催の研究大会もあります。多数の会員の参加を願います。

そこで今回は、これらの行事での様子をご紹介します。

南空知P連

岩見沢市P連研究大会

9月23日(土)

平成18年度の南空知P連研究大会・市P連研究大会は、南空知の各市町から500名の参加者が集い午前の



こぶし焼き体験講座

岩見沢市P連

教育懇談会・教育懇親会

12月1日(金)

12月1日、教育懇談会・懇親会をホテルサンプラザにて開催しました。

渡辺市長、嵯峨教育委員長他多数のご来賓をお招きし、200名近くの参加がありました。

市内の各小・中学校ばかりでなく、すみれ幼稚園や市内各高校のPTA役員方の参加をいただき、会場いっぱい参加者で盛会に有意義な一時を過ごすことができました。

前半の教育懇談会では、JAいわみざわ農業振興部企画振興課の瀬尾課長さんから地場産品の素晴らしさや食材としての良さを説明いただき、楽しいクイズを交えての学習会を行い、後半の懇親会では参加者同士の楽しい交流が持たれました。懇親会の中でも、地場産品の味の良さに舌鼓を打ち、各単Pからの自己紹介に楽しく聞き入っていました。

その後は、各単Pごとの交流会が持たれ、長い夜を過ごして交流を深めることができましたと思います。

岩見沢市P連・母親委員会学習会

「食で育まれる健やかな 子どもの心と身体」

12月11日(月)

12月11日、光陵中学校を会場にして、母親委員会学習会が開催されました。

食育に大きな関心が寄せられている中、佐藤陽子委員長を中心に母親委員会が市内P会員に、歯の健康と健やかな子どもたちの成長を考えようと100名近くの参加者をいただきながら、真剣に熱く学習会が開催されました。

岩見沢市でも「早寝・早起き・朝ごはん」と提唱されている今、健康な身体づくりには健康な歯を維持することが大切であると改めて深く勉強することができた、大変良い機会でした。

来年度にも多数ご参加下さい。

〈問合せ先〉

岩見沢市PTA連合会事務局
事務局次長 伊藤 祐輔
(志文小学校 教頭)

☎ 22局 4689 FAX 22局 9884

登山で 健康づくり!

岩見沢山岳連盟

登山は、年齢・性別に関係なく誰でも楽しめるスポーツと言われるています。

山は、春夏秋冬、装いを変えて、私たちを迎えてくれ、心身をリフレッシュしてくれまます。

自然との対話、自分の心身とも対話できるようになれば、登山がより楽しくなります。楽しい中にも、疲労や筋肉痛などは、つきものですが、その基本的な知識も身につけるために、岩見沢山岳連盟では、毎年4月末から10月末まで、10数回「中高年安全登山教室」を開催しています。

昨年は、1,920mの上ホロカメトツク山から、赤岩山・祝津縦走といったコースまで、6か月で12回実施しており、講義や実技をこおして、安全・快適・健康的な登山のための知識や技術を身につけることができます。

冬は、スノーシューを履いて、利根別原生林でスノーハイキングも実



施しています。一歩一歩、息を切らし山道を登りつめ、頂上を極めた時の喜び・爽快感は、まさに登山の醍醐味であり、四季折々の花や動植物が、いつでもあなたに感動を与えてくれます。登山を生涯の友として愛し続けられるよう、山岳連盟は安全で快適・健康的な軽登山・トレッキングをサポートします。



座右の銘は

こうるじっぽう 『響流十方』

～太鼓道の真を求めて～

ほろむい太鼓同志会

昭和55年、幌向が開基100年を迎えた年、空知管内では比較的歴史の古い街でありながら、水害や冷害による不作等で生活に追われ郷土芸能といわれるものの育たなかつた岩見沢市幌向に何か生み出そうと、時の商工青年部有志7名が太鼓チームを結成。開基100年記念式典でデビューした太鼓団体です。

当時は太鼓も自前のものは1台もなく、幌向神社から2台、中幌向神社から2台を借り受けていました。衣装もはんてんもなく裸にパッチとさらし、ある物といえば心意気だけで発足したチームです。練習場も食糧事務所、神社の拝殿、農家の納屋、空き家になった住宅、廃校になった学校体育館など流浪の旅を続け、現在の練習場に落ち着くまでに大変な27年間でした。



現在は約50名近い会員で週2回の練習に励んでおり、上は大人から下は3歳児まで、和太鼓を通じて人の輪と、元気な子ども、明るいまちづくりを目指して、日夜技の研鑽と太鼓道の真を求め、座右の銘「響流十方（こうるじっぽう）」を旗印に頑張っている太鼓チームです。



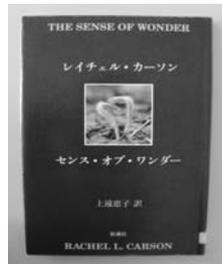
先日、中学3年の英語の授業を参観していると、教科書にレイチエル・カーソンという人物の紹介が載っていました。授業をみながら、彼女の「知る」ことは「感じる」ことの半分も重要ではない」という言葉を思い出しました。

彼女が、小さな甥のロジャーとメイン州の別荘で海岸や森を散策しながら過ごしたときの様子を記した「センス・オブ・ワンダー」（上遠恵子訳 新潮社）という本にある言葉です。

自分もつと知りたいと思って、調べて見つけた知識はしっかり身につきます。美しいものを見て美しいと感じる感覚、未知なものや新しいことに出会ったときの感動などの感受性を豊かにすることが、やがて知識や知恵を身につけることにつながります。

では、子どもの感受性は、どうやって育まれるのでしょうか。小さい頃から五感をフルに使って自然に直接触れる経験を積むこと、枠組みにとらわれない自由な発想が認められること、一人ひとりの違いが個性やユニークさとして評価されることなどが大切ではないかと思えます。

レイチエル・カーソンは、子どもに生まれながらに備わっている「センス・オブ・ワンダー」神秘さや不思議さに目を見張る感性をいつも新鮮に保ち続けるためには、私たちが住んでいる世界の喜び、感激、神秘などを子どもといっしょに再発見し、感動を分かち合う大人がそばにいる必要があるとも述べています。



レイチエル・カーソン
「センス・オブ・ワンダー」
(上遠恵子訳 新潮社)

家でできる♪ 簡単給食レシピ♪

岩見沢の地場産物『ゆりね』を使って『ゆりねきんぴら』



★材料（4人分）

*ゆりね	10g		
*にんじん	60g	*米ぬか油	2g
*ごぼう	60g	*酒	2g
*つきこんにゃく	60g	*三温糖	8g
*鶏もも肉	40g	*みりん	8g
*白いりごま	2g	*しょう油	20g

★つくり方

- ① ゆりねは、汚れやごみを水で洗い流し、黒いところをきれいに削り、底の芯のところをえぐりとり、外側のりん片を一枚ずつはがし、薄い酢水でさっとゆでる。
- ② にんじん、ごぼう、椎茸は千切り。
- ③ 鶏もも肉は、2cmくらいにスライスする。
- ④ フライパンまたは鍋に、油を入れ熱し、にんじん、ごぼう、肉、椎茸、こんにゃくの順にいためる。火が通ったら、酒、みりん、三温糖、しょう油で調味する。
- ⑤ 最後に、ゆりね、白いりごまをかるく混ぜてできあがり。

ゆりねは、茶わん蒸しの脇役と思われがちですが、栄養価も高くいろいろな料理に使えとても良い食材のひとつです。なじみの少ない食材ですが、旬の時期にぜひ味わってみてはいかがでしょうか。



新しい岩見沢の味！になるかもしれませんね。



=ご意見・ご要望をおよせください=

<担当>

岩見沢市教育委員会企画総務課情報企画係
〒068-8686

岩見沢市鳩が丘1丁目1番1号

☎ 0126-23-4111 (内線 416)

FAX 0126-25-2995

メール ejyouthou@i-hamanasu.jp

教育委員会ってナニ？

教育委員会は、市長が議会の同意を得て、任命した委員で構成する合議制の執行機関です。岩見沢市の教育委員会は、5人の教育委員（うち1人は教育長）により組織されています。

教育委員会の会議には定例会と臨時会があり、定例会は原則として毎月第3火曜日に開かれています。会議では、教育行政のあり方や各種規則等の制定などが話し合われます。会議は、公開を原則としており、どなたでも傍聴できますが、人数制限や非公開の場合があります。会議の日程は、教育委員会ホームページでお知らせしています。（アドレスは本号表紙をご覧ください。）

<問合先> 企画総務課 総務係 ☎ 23局 4111(内線 382)